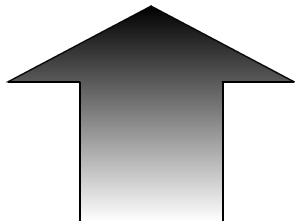


令和7年度 学力向上を図るための全体計画

<関係法規・法的根拠> (1) 学習指導要領 (2) みどりの風吹く まちビジョン (3) 練馬区教育・子育て大綱		<学校教育目標> 『自律』 自ら考え主体的に行動する人 『敬愛』 思いやりがあり 自他を尊重する人 『創造』 より良い社会を探求し 新しい時代を創造する人		<地域・保護者の願い> (1) 思いやりの心、基本的生活習慣を身に付けた生徒 (2) 健全な自尊感情に基づく社会性を身に付けた生徒	
<学校経営方針>（学力向上に関わる要点） (1) 基礎・基本の定着を徹底するとともに思考力、判断力、表現力等の育成を図る。 (2) 個に応じた多様な学習活動を実施する。 (3) 話し合い活動やレポートのまとめ、プレゼンテーションなどを通して言語活動を充実し、ICT 機器やタブレット端末等を活用した主体的・対話的で深い学びを実践する。 (4) 何ができるようになるかを明確にした評価基準を設定し、指導と評価の一体化を図る。 (5) 主体的に学習に取り組む態度を養うことにより学力の定着を図る。 (6) 義務教育9年間を見据えた教育活動 <小中一貫教育の充実> の充実を図る。					
各教科の指導の重点 (1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着 (2) 生徒の個性や能力に応じた多様な学習活動の用意と、家庭学習の定着を支援 (3) 適切な評価評価の実施と、指導と評価の一体化		谷原中学校における「確かな学力」 新しい時代に必要な資質・能力の育成を推進 (1) 生きて働く「知識・技能」の習得 (何を理解しているか、何ができるか) ＝応用力の土台となる知識、原理・原則を身に付ける。 (2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成 (理解していること・できることをどう使うか) ＝あらゆる課題の解決に柔軟に取り組む力を養う。 (3) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養 (どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか) ＝よりよい人生を送るための社会とのかかわり方について学ぶ。 <確かな学力を養うために> (1) 谷原中の伝統として生徒が培ってきた自尊感情に支えられた授業規律 (2) 集団生活のルールをすすんで守ろうとする規範意識 (3) 生徒の自主性を尊重した特別活動や学校行事 これらの日々の学校生活の全人的な営みを通じて、生徒が未来社会を切り拓いていくため、以上の3つを柱とし必要な資質・能力を育んでいく。		道徳教育の指導の重点 (1) 教育活動のあらゆる場面で、人権尊重の視点を大切にした取組の実施 (2) 生徒の成長に応じた教材を活用して規範意識と自他を尊重する態度の育成 (3) 保護者・地域の願いを受けとめた、道徳授業の充実と工夫	
総合的な学習の指導の重点 (1) 人間関係を円滑に進めるコミュニケーション能力の育成 (2) 夢や希望をもって前向きに困難を乗り越えようとする能力の育成 (3) 情報を活用して、適切に生かす能力の育成 (4) よりよい進路を判断し選択する能力の育成				特別活動の指導の重点 (1) 生徒会活動や学校行事の充実および自主的・自律的な生活態度の育成 (2) 学校行事や集団活動の中で、正しい判断力と価値観を養い、責任ある行動がとれる生徒の育成 (3) 地域との連携行事などを通して、集団や社会の構成員としての資質の育成	
キャリア教育の重点 (1) 3年間を見通した発達段階に応じた進路指導のもと、自己の適性の発見と個性や能力の伸長 (2) 自己の将来に関心をもたせるよう、職場訪問・職場体験・上級学校訪問等の体験活動の充実				生活指導の指導の重点 (1) 「命の大切さ」「生きることの大切さ」を全教育活動を通して指導 (2) 人として当たり前のことができること、すべての生徒が集団での生活を気持ちよくできることを基本に指導	
本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
(1) 授業時数を確保し授業規律を徹底した学習活動の展開 (2) 1時間ごとの学習目標を明確にした授業実践 (3) 少人数、習熟度別授業、個に応じた指導、ICT 機器の活用等の工夫	(1) 行事の精選と授業時数の確保 (2) 朝読書の充実と落ち着いた学習環境の確立 (3) 長期休業や放課後等を利用した補充学習の充実 (4) 外部人材の活用	(1) 教職員の資質向上のための校内研修・研究授業の実施 (2) 3人組授業相互参観を通じた授業の充実 (3) ユニバーサルデザインに基づいた教室環境の改善	(1) 評価基準・基準の明示と生徒・保護者への説明 (2) 評価精度の向上および、指導と評価の一体化 (3) 適正な評価に基づいた授業改善と授業力の向上	(1) 授業参観、学校公開の推進 (2) 外部評価の積極的活用 (3) 地域行事への参加と伝統文化の学習 (4) 地域人材の活用 (5) 学校だよりやHPを活用した情報公開の工夫	(1) 児童生徒の発達段階に応じた9年間を見据えた課題改善プログラムの活用 (2) 学びの連続性を視野に入れた指導の充実
授業改善策の検証方法					
(1) 管理職による授業観察、教員相互での授業参観による検証 (2) 研究授業等の校内研究での検証 (3) 学力調査、定期考査等の結果による検証			(4) 作品や提出物の評価による検証 (5) 学校評価における教員の自己評価の検証 (6) 保護者および生徒アンケートによる検証		